

- ♣ 扉 おけらとちんぼこ サトータツオ 1
- ♥ まなぶということ 小川 研 2
- ♠ 今月の統計資料 須貝龍男 8
- ◆ 詩 代休・振休 8



# 特集 いま、なにがおきているの

岸田政権で憲法はどうなる? ..... 齊藤小百合 10

「新しい資本主義」で日本経済はどう変わる? ..... 北村 巖 14

虚構の新冷戦にだまされてはならない ..... 湯浅一郎 17

電気代が上がっている? ..... 吉田明子 20

「労働」と「雇用」の未来を展望する ..... 中野麻美 23

使用者優位を変えられるか 欧米の労働運動にまなぶ ..... 浦田 誠 27

国の政策と農の現場 分断とすれ違い ..... 大野和興 30

日本のうしろ 世界のうしろ

どうなるの? 「新しい資本主義」のゆくえ ..... 横田昌三

22春闘 私鉄労働者はどう闘うのか ..... 内山 貴 33

職場の法律相談 変形労働時間、みなし労働時間制 ..... 中川 亮 53

憲法 ② 皇族と報道を考える ..... 北川鑑一 56

誌上学習会「賃労働と資本」終

商品の価格はなにによって決まるのか? ⑩ ..... 60

◆ たちみ席	41	◆ 働く現場から	52
◆ キャラバンサライ	42	◆ 情報BOX	64
◆ スポーツ時評	44	◆ 北から南から	65
◆ 宇宙・アート・文化	46	◆ センターとみなさんをつなぐ	68
◆ 中国観看	48		
◆ 古典への招待	50		

カット 野崎安希子、高野日出見

## まなぶということ

2%の物価上昇は、実現、だが

小川 研

帰宅途中に毎日近所のスーパーに寄って買い物をします。感じるのは「あつこれも上がっている」ということです。原因は「円安急進」です。つまり輸入食品が値上がりし、毎日買う食品の値段が上がっているのです。私たちの多くは「国内産の食肉」と「比較的安い外国産の食料」を前にしてどちらを買うのかというとその日の懐具合でした。セールの値札が木になる毎日です。たまに500円のランチセットを食べに行っていた牛丼屋のメニューからそれが消えました。代わって出てきたのは100円ほど高いメニューです。安倍元首相とペアを組んで「円安」を進めてきた日銀黒田総裁は、「景気を良くして↓賃金が上がって↓2%のインフレ」と言いつけてきました。これはきつと「良いインフレ」なんですよ。

では、いま起きている物価の値上がりはどういう理由でしょう。「円安↓輸入品の値上がり↓私たちが買うものの値上がりです。これは「悪い値上がり」です。「2月以降には、しょうゆ、冷凍食品、ハム・ソーセージなど身近な食品の値上げを大手食品会社が決めている」という報道もあります。黒田総裁はどこ吹く風で、輸出企業に有利な「円安」をやるつもりはまったくありません。「円安が物価上昇を通じて家計所得にマイナスの影響が強まっている」が、「円安の方向の動きは、基本的にプラスの効果が大きい」と言いつけています。

いよいよ春闘本番。安倍・菅のイカサマ春闘ではなく、労使の要求・交渉・闘争で賃上げを勝ち取らなければ、物価上昇、悪いインフレが労働者を打ちのめすことになります。安倍・菅が目標とした「2%の物価上昇」は2月にも達成されるかもしれません。ただし、その原因は賃金の上昇ではなく円安による物価の上昇です。賃金は下がればなし、物価は上がりつばなしは終わりにしましょう。

(労働大学出版センター代表)